

第2回

神戸医療産業都市の将来像についての検討会

2024年3月12日

【本日の論点】

論点

1. 神戸医療産業都市の目標設定について
2. 神戸医療産業都市が取り組むべき事柄・観点とその方向性について
3. 神戸医療産業都市が備えるべき機能について

1. 神戸医療産業都市の目標設定について

<目標設定>

- ・本市が**国内のバイオメディカルクラスターのトップランナー**として成長し続けるとともに、**国際的地位を高めることができるよう**、
- ・研究・開発の潮流や事業化・産業化の動向等に的確に対応し、**多様な人材の集積・育成や若年世代の定着・往還、雇用の創出**を図り、
- ・**イノベーションの創出**等を通じて、**市民福祉の向上や地域経済の振興**等により、**市民に還元するプロジェクト**として展開する。

2. 神戸医療産業都市が取り組むべき事柄・観点とその方向性について

< 施策展開における視点 >

- I. 医療技術や創薬等の医療領域における研究開発の事業化・産業化や医療サービスの向上等を図るため、産学官医のリソースを有効活用し、「橋渡し」機能のさらなる強化を図る。
- II. 今後の成長分野として期待されるバイオものづくりやロボティクス、デジタルツイン※等の分野・領域の深化に重点を置く。
- III. ポートアイランド2期を中心に、神戸市域全域を神戸医療産業都市として捉え、関西をはじめとした日本のバイオメディカルクラスターの中核として、アカデミア等のシーズの事業化・産業化のゲートウェイ（玄関、中継地）となる。
- IV. 神戸空港の国際化を踏まえ、アジア圏を中心とした関連企業等のインバウンド・アウトバウンドや協業等を促進する。

※デジタルツイン：現実世界から集めたデータを基にデジタルな仮想空間上に双子（ツイン）を構築し、様々なシミュレーションを行う技術

2. 神戸医療産業都市が取り組むべき事柄・観点とその方向性について

1. 医療技術や創薬等の医療領域における研究開発の事業化・産業化や医療サービスの向上を図るため、産学官医のリソースを有効活用し、「橋渡し」機能のさらなる強化を図る。

事柄・観点	方向性
① コーディネート機能の強化	企業ニーズ等を踏まえて、進出企業や高度専門病院群等、進出企業間の連携を推進し、研究・開発シーズの事業化・産業化やビジネスモデルの構築等を促進するためのコーディネート機能を強化する
② サポート機能の強化	経営・会計・法務・知財・医療統計等の多様な専門人材が集積・育成されるクラスターとなることで、進出企業等のサポート機能を強化する
③ 研究・開発環境の充実	神戸医療産業都市の発展の軸とするため、再生医療や医療機器等の強みのある領域において重点的に研究・開発の促進が図られるよう、研究人材・企業の集積や操業・協業等に資する環境形成を推進する
④ 市民の暮らしの安全・安心への貢献	高度専門病院群の人材や知見を活用し、質の高い医療の提供や介護、ヘルスケアなどのステージに合わせた市民の暮らしの安全・安心に貢献する

2. 神戸医療産業都市が取り組むべき事柄・観点とその方向性について

II. 今後の成長分野として期待される**バイオものづくり**や**ロボティクス**、**デジタルツイン**※等の分野・領域の深化に重点を置く。

事柄・観点		方向性
①	既存産業との連携強化	歴史的に製造業等が集積する地域特性の有効活用
②	強みのある領域	神戸医療産業都市の発展の核となるよう 今後の成長分野・領域を軸とした重点的な支援を展開 する
	バイオものづくり	神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科 等、関連するアカデミアや企業の集積が進み、今後、市場規模の拡大が期待される バイオものづくりについて重点的な支援を展開 する
	ロボティクス	理化学研究所生命機能科学研究センター（IIB） の研究開発等、今後、さらなる産業利用の進展等が見込まれる ロボティクスについて重点的な支援を展開 する
	デジタルツイン （AIシミュレーション）	理化学研究所計算科学研究センター（「富岳」） の研究開発等、創薬や遺伝子治療をはじめ様々な産業領域における活用が進む デジタルツイン※（AIシミュレーション）について重点的な支援を展開 する
③	人材の集積・育成	今後、研究開発が分野横断的に深化することが想定されるため、 多様な人材が集積・育成される環境を形成 する

※デジタルツイン：現実世界から集めたデータを基にデジタルな仮想空間上に双子（ツイン）を構築し、様々なシミュレーションを行う技術

2. 神戸医療産業都市が取り組むべき事柄・観点とその方向性について

III. ポートアイランド2期を中心に、神戸市域全域を神戸医療産業都市として捉え、関西をはじめとした日本のバイオメディカルクラスターの中核として、アカデミア等のシーズの事業化・産業化のGateway（※玄関、中継地）となる。

事柄・観点		方向性
①	人材の集積・育成	ポートアイランド2期を中心としながら、 市域全体や連携先の地域を研究・開発や操業の場 として位置づけ、 多様な人材の集積・育成 を図る
②	他都市のクラスターとの連携促進	殿町キングスカイフロントや湘南ヘルスイノベーションパーク等といった有力なクラスターはもちろん、大阪や京都、中国・四国や九州における 医学・薬学・工学等の分野にかかるアカデミアやクラスターとの連携を促進 する
③	スタートアップ支援	民間の資源・ノウハウの活用による ラボ運営や、アクセラレーションプログラムの提供、VC等のネットワーク形成等、重層的に施策を展開 する
④	まちの魅力向上	ポアイリボーンプロジェクトと連動 し、ポートアイランド1期エリアも含めた住民や学生、来街者、従業者等にとって 魅力あるまちづくり施策を展開 する
⑤	進出企業間等の交流の促進	進出企業等の交流を促進する仕掛けづくり を行う（交流場所、喫食環境の向上、親睦活動、学生参加型イベント等）

2. 神戸医療産業都市が取り組むべき事柄・観点とその方向性について

IV. 神戸空港の国際化を踏まえ、アジア圏を中心とした関連企業等のインバウンド・アウトバウンドや協業等を促進する。

事柄・観点		方向性
①	海外企業の誘致	神戸空港の国際化を踏まえ、国内外のネットワークを活用しながら、 スタートアップの成長・イノベーション創出に資する事業会社・VC等の誘致 について重点的に取り組む
②	海外展開の支援	神戸空港の国際化を踏まえ、国内外のネットワークを活用しながら、進出企業等の海外展開について、 実践的な伴走支援 を行う
③	国際医療交流の推進	神戸空港の国際化により人的交流が一層盛んになることから、アジア諸国を中心とした 国際医療交流を推進 する